

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

鳥 大 医 事 第 1 6 - 1 号
令 和 4 年 1 0 月 3 日
開設者名 国立大学法人鳥取大学
学長 中島 廣光

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏名	国立大学法人鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地1
電話(0859)33-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科	○	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							
内分泌内科及び代謝内科で提供される医療は内分泌代謝内科にて、神経内科で提供される医療は脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科					無		
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
外科で提供される医療は外科系各診療にて、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療は乳腺内分泌外科にて提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科					無	
歯科と組み合わせた診療科名						
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科	
歯科の診療体制						
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。						

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	内分泌代謝内科	2	膠原病内科	3	乳腺内分泌外科	4	頭頸部外科	5	ペインクリニック外科
6	薬物療法内科	7	形成外科	8	腫瘍内科	9	脳神経小児科	10	病理診断科
11	リハビリテーション科	12	脳神経内科	13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	2	6	0	649	697

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	343	54.9	397.9
歯科医師	15	0.8	15.8
薬剤師	54	0	54
保健師	0	0	0
助産師	53	0	53
看護師	832	10.8	842.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	12	0	12

職種	員数
看護補助者	65
理学療法士	20
作業療法士	9
視能訓練士	6
義肢装具士	0
臨床工学士	23
栄養士	0
歯科技工士	2
診療放射線技師	42

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	57
衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	8
その他の技術員	8
事務職員	298
その他の職員	50

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	50	眼科専門医	11
外科専門医	34	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	9	放射線科専門医	12
小児科専門医	34	脳神経外科専門医	6
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	10
産婦人科専門医	16	救急科専門医	9
		合計	231

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (原田 省) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

医療事故防止等対策委員会 委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	544.1 人	9.0 人	553.1 人
1日当たり平均外来患者数	1435.5 人	78.8 人	1514.3 人
1日当たり平均調剤数	1093.5		剤
必要医師数	140		人

必要歯科医師数	6	人
必要薬剤師数	19	人
必要(准)看護師数	328	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	582.6 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	28 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	291.8	m ²	病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	12	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	28			m ²
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	453.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、化学発光酵素免疫測定装置、電気化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	97.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動同定感受性分析装置、血液培養装置、自動細菌同定検査装置		
病理検査室	93.3 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル・スライド方式による遠隔病理画像診断システム、液状処理細胞診システム、凍結組織切片作製装置、自動固定包埋装置		
病理解剖室	90 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	病理解剖台、臓器保管庫		
研究室	1123 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー等		
講義室	406 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	366 人
図書室	1777 m ²	鉄筋コンクリート	室数	6 室	蔵書数	704,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	90.2	%	逆紹介率	102.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		10,987 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,359 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,349 人		
	D: 初診の患者の数		15,894 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
----	----	---------------	------	----------	---------------

福田 誠司	梶山女学園大学看護学部教授	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため。	無	1
中村 寿夫	中村法律事務所弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため。	無	1
前田 純子	NPO法人岡山SP研究会代表		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療の安全管理についての知識を有する者として適任であるため。	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院のホームページ及び大学のホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	27
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	3
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	0
先進医療の種類の合計数	3
取扱い患者数の合計(人)	30

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	1
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法	0
先進医療の種類の合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	1

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	31
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	50
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	5
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	3
5	進行性核上性麻痺	33	60	再生不良性貧血	11
6	パーキンソン病	143	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	27
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウース病	4	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	73	66	IgA 腎症	35
12	先天性筋無力症候群	2	67	多発性嚢胞腎	21
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	48	68	黄色靱帯骨化症	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8	69	後縦靱帯骨化症	47
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	10
17	多系統萎縮症	17	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	33	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	14
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	3
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	28	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	31
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	67
24	亜急性性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	19	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	48
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	43
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	11
32	自己食真空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	6
34	神経線維腫症	27	89	リンパ管筋腫症	3
35	天疱瘡	13	90	網膜色素変性症	11
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	37
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	24
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	43
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	103
43	顕微鏡的多発血管炎	28	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バーシャー病	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	152	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	64	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	64	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	24	107	若年性特発性関節炎	9
53	シェーグレン症候群	35	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	16	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	1

117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	6
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイアー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	3
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ゾト症候群	1
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	4	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	1	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	4	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無 β リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	2	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	5	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	20	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	10
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0

228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	36

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクロームステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	2
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	121
合計患者数(人)	1880

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料	・呼吸ケアチーム加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算2	・データ提出加算
・急性期看護補助体制加算	・入退院支援加算
・看護職員夜間配置加算	・認知症ケア加算
・看護補助加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・療養環境加算	・精神疾患診療体制加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神科急性期医師配置加算
・無菌治療室管理加算1	・排尿自立支援加算
・無菌治療室管理加算2	・地域医療体制確保加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料3
・精神病棟入院時医学管理加算	・救命救急入院料4
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科リエゾンチーム加算	・特定集中治療室管理料3
・摂食障害入院医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・栄養サポートチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・医療安全対策加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・感染対策向上加算1	・小児入院医療管理料1
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科治療時医療管理料	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・糖尿病合併症管理料	・羊膜移植術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん患者指導管理料イ	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・がん患者指導管理料ロ	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle 法))
・がん患者指導管理料ハ	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・がん患者指導管理料ニ	・人工中耳植込術
・外来緩和ケア管理料	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・糖尿病透析予防指導管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・小児運動器疾患指導管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・婦人科特定疾患治療管理料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・一般不妊治療管理料	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・腎代替療法指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)及び下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・生殖補助医療管理料2	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・二次性骨折予防継続管理料1	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・二次性骨折予防継続管理料3	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・院内トリアージ実施料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・下肢創傷処置管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・外来放射線照射診療料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・外来腫瘍化学療法診療料1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・連携充実加算	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ニコチン依存症管理料	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん治療連携計画策定料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来排尿自立指導料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・肝炎インターフェロン治療計画料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・薬剤管理指導料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・内視鏡下筋層切開術
・地域連携診療計画加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療機器安全管理料1	・胸腔鏡下弁形成術
・医療機器安全管理料2	・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療機器安全管理料(歯科)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・胸腔鏡下弁置換術
・禁煙治療補助システム指導管理加算	・経皮的僧帽弁クリップ術
・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極拔去術
・遺伝学的検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・骨髓微小残存病変量測定	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・BRCA1／2遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・がんゲノムプロファイリング検査	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・先天性代謝異常症検査	・補助人工心臓
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・腹腔鏡下小切開腎窩内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・国際標準検査管理加算	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・遺伝カウンセリング加算	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・体外衝撃波胆石破碎術
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・神経学的検査	・体外衝撃波膵石破碎術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・小児食物アレルギー負荷検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内服・点滴誘発試験	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経気管支凍結生検法	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・画像診断管理加算2	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・ポジトロン断層撮影	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・CT撮影及びMRI撮影	・同種死体腎移植術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・生体腎移植術
・冠動脈CT撮影加算	・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・小児鎮静下MRI撮影加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術

・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1	・体外式膜型人工肺管理料
・がん患者リハビリテーション料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
・リンパ浮腫複合的治療料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術）
・療養生活継続支援加算	・輸血管理料Ⅰ
・精神科作業療法	・輸血適正使用加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・医療保護入院等診療料	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・エタノールの局所注入（甲状腺）	・歯周組織再生誘導手術
・エタノールの局所注入（副甲状腺）	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・人工腎臓	・麻酔管理料（Ⅰ）
・導入期加算1	・麻酔管理料（Ⅱ）
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・放射線治療専任加算
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・外来放射線治療加算
・磁気による膀胱等刺激法	・高エネルギー放射線治療
・CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー	・一回線量増加加算
・歯科技工加算1及び2	・強度変調放射線治療（IMRT）
・センチネルリンパ節加算	・画像誘導放射線治療（IGRT）
・自家脂肪注入	・体外照射呼吸性移動対策加算
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・定位放射線治療
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・画像誘導密封小線源治療加算
・後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・椎間板内酵素注入療法	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腫瘍脊椎骨全摘術	・病理診断管理加算2
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・口腔病理診断管理加算2
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）	・歯科矯正診断料
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・遺伝学的検査(包括的なゲノムプロファイル検査)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	呼吸器外科・乳腺外科(合同): 週1回 泌尿器科・放射線科(合同): 月1回 女性診療科・放射線科(合同): 月1回 血液内科: 月1回 各科とのCPC: 月1～2回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	16
	剖検率(%)	3.1

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Galectin-3による生体内幹細胞障害の機序解明と治療効果の検証	今村 武史	薬物療法内科	5,460,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
βヒドロキシン酪酸の抗うつメカニズムの解明と炎症標的新規抗うつ薬としての	岩田 正明	精神科	6,240,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児てんかんへの頭皮脳波周波数解析によるてんかん分類方法の確立	岡西 徹	脳神経小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網羅的解析による、インスリン様成長因子-1不応症の成長障害の分子基盤解明	難波 範行	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
性腺機能の老化と心房細動発症の関連の解明	加藤 克	第一内科診療科群	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COVID-19に対する可溶性ULBP2制御によるNK細胞療法の開発	千酌 浩樹	感染制御部	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生因子を添加した脂肪細胞由来再生細胞シートを用いた新しい心筋再生療法の開発	西村 元延	心臓血管外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
キチンナノファイバーを用いた即効性手術用止血剤の開発	武中 篤	泌尿器科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体工学技術を利用した膀胱がんの発がんと進展過程における分子メカニズムの解明	清水 龍太郎	泌尿器科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症発生仮説としての「子宮内膜移植説」の解明:腹膜由来分子の役割に注目して	谷口 文紀	女性診療科群	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部癌を標的としたセラミドリポソーム製剤による治療探索	藤原 和典	頭頸部診療科群	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
B細胞関連因子を介した血管内皮の分化及び脈絡膜新生血管発生機序の探索	馬場 高志	眼科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
眼感染症病巣のRNAシーケンス網羅解析による病態解明	井上 幸次	眼科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能(AI)による感染性角膜炎診断支援システムの戦略的开发	宮崎 大	眼科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
手術用鉗子における電磁ノイズ等の影響を受けない圧光干渉による力覚センサ機構の確立	森實 修一	泌尿器科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PAPP-A2を介したIGF-1の生体利用率調節と出生時体格の関係性解明	藤本 正伸	小児科	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器内視鏡領域における、光線力学的診断(PDD)の応用と疾病予測AIの開発	藤井 政至	新規医療研究推進センター	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
在宅酸素療法を可能にする自動酸素流量調整装置の開発のための基盤研究	山本 章裕	救命救急センター	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者の予後不良に関与するMaspinの局在と機能との関連性の解明	若原 誠	胸部外科診療科群	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞極性シグナルの破綻に伴うYAP/TAZ経路の活性化を介した膀胱進展機構の解明	花木 武彦	第一外科診療科群	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
センダイウイルスによる可逆的不死化卵巢癌細胞株の樹立と性状解析	小松 宏彰	女性診療科群	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
声帯癬痕に対する脂肪由来間葉系幹細胞調整培養液の局所投与	森崎 剛史	頭頸部診療科群	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性脳症モデル動物に対するMuse細胞の治療効果	川口 達也	脳神経小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治的内視鏡治療可能な早期食道癌の死因に関するがん登録を利用したコホート研究	河口 剛一郎	第二内科診療科群	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNA損傷修復能による小細胞肺癌に対する個別化医療の確立	牧野 晴彦	第三内科診療科群	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウイルス性肝細胞癌の早期診断の徹底と非B非C型肝細胞癌のサーベイランスへの挑戦	岡野 淳一	第二内科診療科群	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エキソソーム解析による新規インスリン抵抗性・2型糖尿病治療標的の探索	大倉 毅	第一内科診療科群	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン症候群の病態解明へのChromogranin Bを含むシーズ探索研究	瀧川 洋史	脳神経内科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経機能障害に着目した福山型筋ジストロフィーの治療法開発研究	岡崎 哲也	遺伝子診療科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
効果的心不全栄養療法に向けたカルニチン欠乏・ダイナペニア・横隔膜機能障害連関解明	山本 一博	第一内科診療科群	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺扁平上皮癌患者の不良予後に関与するMaspinの分子機構の解明	梅北 善久	病理診療科群	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病院における災害時業務継続計画の充実による被害軽減に関する研究	本間 正人	救命救急センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規ドラッグデリバリーシステムを用いたKv7チャネル開口薬膀胱内注入の確立	本田 正史	泌尿器科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
地域高齢糖尿病患者の「病い」の認知と療養行動障壁の関連について	谷口 晋一	総合診療外来	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
算数障害中核的症状への早期介入プログラムとトレーニングアプリの効果	大羽 沢子	ワークライフバランス支援センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経可塑性を用いた神経変性疾患の臨床的指標の確立	花島 律子	脳神経内科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋萎縮性側索硬化症の神経心理・神経放射線学的検討(言語評価法の開発を含めて)	渡辺 保裕	脳神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

初発膠芽腫のベバシズマブ治療効果に関する遺伝子と画像評価法の確立	神部 敦司	脳神経外科	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超音波ドプラ法による新しい声帯病変の良悪性診断法の確立	福原 隆宏	頭頸部診療科群	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大網と脂肪由来幹細胞を用いた新たな乳房再建の試み	八木 俊路朗	形成外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代シークエンサーによる小児不応性血球減少症の成因解明と新規診断・治療への挑戦	奥野 啓介	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
革新的な医療機器開発の基盤となる熟設計指針の提案とその有用性評価	上原 一剛	新規医療研究推進センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
健康寿命の延伸に向けた再生医療技術によるヒト心筋細胞の老化関連分泌現象の解明	三明 淳一朗	薬物療法内科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
I-131内用療法後の唾液腺障害に対してビタミンEは有用か？	北川 寛	放射線治療科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん性スパズムの発作時脳波解析による脳梁離断術に対する予後予測因子の解明	金井 創太郎	脳神経小児科	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
lncRNAによる癌幹細胞制御メカニズムに基づいた肝細胞癌治療・診断法の開発	坂口 弘美	放射線治療科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間質性肺炎におけるアンチセンス長鎖ノンコーディングRNAの機能解析	高田 美樹	第三内科診療科群	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウロモジュリンによる糸球体濾過の調節と新たな腎保護メカニズムの解明	高田 知朗	第二内科診療科群	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経栄養因子高発現間葉系幹細胞移植によるALS治療の試み	本多 直人	脳神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
関節軟骨の内軟骨性骨化による菲薄化の証明と変形性関節症との関連性	柳楽 慶太	整形外科	130,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
夜間頻尿を規定する膀胱時計遺伝子の決定	木村 有佑	泌尿器科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超音波診断装置を用いた唾液腺腫瘍の3D血流診断法の確立	松田 枝里子	頭頸部診療科群	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新しい耳管機能検査	矢間 敬章	頭頸部診療科群	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
白内障術後眼内炎対策の戦略的分子解析	佐々木 慎一	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝転移ドライバー分子AMIGO2を活用した癌肝転移に対する新規治療法の開発	谷尾 彬充	高次集中治療部	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
経口内視鏡的食道筋層生検術によるアカラシア発症機序の解明	池淵 雄一郎	第二内科診療科群	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌におけるIgA産生細胞の検討	植嶋 千尋	第一外科診療科群	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体工学技術を用いた膵がんにおける新規テロメラーゼ抑制遺伝子の同定と機能解析	柳生 拓輝	第一外科診療科群	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
選択的オートファジーを介するチロシンキナーゼ受容体TYRO3の膵癌進展機構の解明	宮内 亘	第一外科診療科群	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
合成レチノイドは新たな子宮内膜症治療薬として有効か	東 幸弘	女性診療科群	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
感染による角膜内皮細胞の機能変換の病態解明	春木 智子	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
フコイダンによる脂肪幹細胞再生能促進を介した新規下肢虚血治療の開発	森田 真紀	形成外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IGF-1依存的ヒト軟骨細胞の増殖・分化制御機構の解明	藤本 正伸	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ポリコナゾール長期投与によって代謝酵素の自己誘導は起こるのか	小玉 菜央	薬剤部	470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
造血管腫瘍患者におけるヘルペスウイルス属の同時再活性化の頻度と治療効果との関連	畑山 祐輝	検査部	470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療分野の情報化の推進に伴う医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策のあり方に関する調査研究	近藤 博史	医療情報部	7,400,000	補委	厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業
浸水被害も含めた、新たな医療機関の事業継続計画(BCP)策定に資する研究	本間 正人	救命救急センター	2,400,000	補委	厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業
骨粗鬆症の予防及び検診提供体制の整備のための研究	萩野 浩	リハビリテーション部	600,000	補委	厚生労働省 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	村上 潤	小児科	150,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
小児急性脳症の早期診断・最適治療・ガイドライン策定に向けた体制整備	前垣 義弘	脳神経小児科	600,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
神経変性疾患領域の基盤的調査研究	花島 律子	脳神経内科	700,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	花島 律子	脳神経内科	700,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	難波 範行	小児科	550,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
国土強靱化計画をふまえ、地域の実情に応じた災害医療提供体制に関する研究	本間 正人	救命救急センター	300,000	補委	厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業
フィブ्रोーム病、ヘルオキシンゾーム病(副腎日質ジストロフィーを含む)における良質かつ適切な医療の実現に向けた体制の構築とその実装に関する研究	成田 綾	脳神経小児科	600,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	吉田 雄一	皮膚科	1,000,000	補委	厚生労働省 難治性疾患政策研究事業
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	山本 一博	第一内科診療科群	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
副腎性クッシング症候群・サブクリニカルクッシング症候群における合併症治療指針の作成	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	100,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費

希少な呼吸器疾患を対象とした前向き観察研究 (CS-Lung Rare)	舟木 佳弘	高次集中治療部	33,000	補 	特定非営利活動法人中国・四国呼吸器疾患関連事業包括的支援機構 受託研究費
ST上昇型急性心筋梗塞に対するエキシマレーザー冠動脈形成術が心筋サルベージに与える影響	渡部 友視	第一内科診療科群	93,500	補 	学校法人東海大学 受託研究費
EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有効性を評価する多施設共同前向き観察研究 (Gio-Tag Japan)	山崎 章	第三内科診療科群	300,000	補 	宝塚市立病院 受託研究費
cT1,cN0,cM0の完全埋没型腎腫瘍の患者を対象にda Vinciサージカルシステムを用いた腎部分切除術の有効性を評価する多施設共同非盲検単群臨床研究	武中 篤	泌尿器科	110,000	補 	国立大学法人神戸大学 受託研究費
特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究 ーパルススライダー、W-EBデバイスー	坂本 誠	脳神経外科	40,000	補 	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会 受託研究費
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	森田 正人	第三内科診療科群	120,000	補 	国立大学法人東海国立大学機構 受託研究費
皮膚腫瘍の臨床情報と紐づけた臨床画像データの提供(多施設共同研究)	吉田 雄一	皮膚科	9,521,000	補 	国立大学法人信州大学 受託研究費
実地臨床におけるバイオリムス溶出性ステントとエベロリムス溶出性ステントの有効性および安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較研究:長期追跡試験【NEXT試験】	渡部 友視	第一内科診療科群	330,000	補 	一般財団法人生産開発科学研究所 受託研究費
産婦人科における内視鏡手術多施設データベース構築および情報支援内視鏡外科手術システム構築	小松 宏彰	女性診療科群	300,000	補 	国立研究開発法人国立がん研究センター 受託研究費
脳動脈瘤の増大およびコイル塞栓術後再発におけるパロキシセチンの抑制効果の後ろ向き検討	坂本 誠	脳神経外科	23,078	補 	独立行政法人国立病院機構京都医療センター 受託研究費
視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験(開発統括・医師主導治験実施)	前垣 義弘	脳神経小児科	1,950,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究 (①肺癌検診におけるEIA診断キットの有用性の検討、②発がんハイリスク患者群での尿中蛋白質断片の早期診断における有用性の前方視的研究、③肺扁平上皮癌と小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発研究)	阪本 智宏	第三内科診療科群	420,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験(治験責任医師として治験の実施)	渡辺 保裕	脳神経内科	1,300,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
小児ウイルス性肝炎患者の病態進展評価及び治療選択に関する研究開発(小児C型慢性肝炎に対するDAA治療に関する研究)	村上 潤	小児科	468,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験(ATLに対するTax標的樹状細胞ワクチン療法の医師主導治験の実施)	福田 哲也	血液内科	650,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
EGFR 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌におけるEGFR 阻害薬耐性機序(C797S 耐性変異)を克服する新規治療法の確立を目指した研究(医師主導治験・遺伝子スクリーニング・付随研究の実施)	阪本 智宏	第三内科診療科群	1,300,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
進行肺癌の血漿遊離DNAを利用したマルチ遺伝子解析法に基づく個別化医療の確立を目指した研究(医師主導治験・付随研究の実施)	阪本 智宏	第三内科診療科群	650,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がんに対する治療開発を目指した研究(ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がん患者を対象としたブリグチニブの多施設共同バスケット試験(医師主導治験)。遺伝子スクリーニング、コンパニオン診断薬の開発および臨床ゲノムデータベースの構築。)	小谷 昌広	がんセンター	1,300,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
新生児マススクリーニング対象拡充のための疾患選定基準の確立(新規候補疾患の新生児マススクリーニングに関する調査研究)	成田 綾	脳神経小児科	260,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出(脊髄小脳変性症の臨床症状とプリズム順応変化との対応と他疾患との区別)	花島 律子	脳神経内科	520,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究(中国地区における未診断疾患に対する診断体制の構築に関する研究)	前垣 義弘	脳神経小児科	3,900,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
Niemann-Pick 病C 型に対する遺伝子治療開発 (AAVベクターによるライゾゾーム病、Niemann-Pick病に対する遺伝子治療法開発)	成田 綾	脳神経小児科	2,600,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築 (患者レジストリに基づく臨床・画像データ解析試料レポジトリに基づくバイオマーカー開発)	花島 律子	脳神経内科	3,055,000	補 	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費

中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究(レジストリ構築、症例の探索・登録、診療ガイドライン策定に資するエビデンス創出)	山本 一博	第一内科診療科群	130,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
ライフステージに応じた子宮内膜症の予防・治療のためのエビデンスの創出(子宮内膜症による健康問題の予防・治療法の確立のための患者レジストリ調査)	原田 省	医学部附属病院	2,340,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた実証研究(手術支援ロボットを用いた遠隔手術の実証研究)	中村 廣繁	胸部外科診療科群	390,000	補 ⑤委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 受託研究費
橋渡し研究戦略的推進プログラム	杉原 誉明	第二内科診療科群	2,000,000	⑤補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
次世代医療機器連携拠点整備等事業	原田 省	医学部附属病院	9,999,990	⑤補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

合計	106件
	160,153,568円

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	専門学会の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Tokuyasu N, Amisaki M, Hanaki K, Moriwaki K, Matsumoto H,	第一外科診療科群	Clinical Significance of Serum Antithrombin III Activity After Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma	Yonago Acta Med. 2021 Apr 15:64(2):168-175.	Original Article
2	Honda M, Shimizu R, Nishikawa R, et al Yano A, Saito H,	整形外科	Urinary pentosidine level is associated with grip strength and gait speed in community-dwelling adults: a cross-sectional study	BMC Musculoskelet Disord. 2021 Apr 26:22(1):392.	Original Article
3	Honda M, Shimizu R, Nishikawa R, et al Yano A, Saito H,	泌尿器科	Potential role of ghrelin on the micturition reflex in rats	Cent European J Urol. 2021;74(2):185-189.	Original Article
4	Amisaki M, et al.	第一外科診療科群	AMIGO2 as a novel indicator of liver metastasis in patients with colorectal cancer	Oncol Lett. 2021 Apr;21(4):278.	Original Article
5	Kurosaki M, Sakamoto M, Kambe Takata I, Moteo A, Tanida K, et al.	脳神経外科	Up-To-Date Magnetic Resonance Imaging Findings for the Diagnosis of Hypothalamic and Pituitary Tumors	Yonago Acta Med. 2021 Apr 16:64(2):155-161.	Review
6	Takata I, Mae Y, Yamada K, et al.	第二内科診療科群	Feasibility of computed tomography-based assessment of skeletal muscle mass in hemodialysis patients	J Nephrol. 2021 Apr;34(2):465-471.	Original Article
7	Nagira K, Enokida M, Hayashi J, et al.	第二内科診療科群	Skeletal muscle mass is associated with erythropoietin response in hemodialysis patients	BMC Nephrol. 2021 Apr 16:22(1):134.	Original Article
8	Takata I, Isomoto H,	整形外科	A Simple Method to Reduce the Incidence of Cyclops Lesion after Anterior Cruciate Ligament Reconstruction	J Knee Surg. 2021 Apr;34(5):546-551.	Original Article
9	Kanai S, Okanishi T, Kawai M, et al.	第二内科診療科群	Pleiotropic Effects of Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitors: Renoprotective Mechanisms beyond Glycemic Control	Int J Mol Sci. 2021 Apr 22:22(9):4374.	Review
10	Higaki-Mori H, Teye K, Ishii N, et al.	脳神経小児科	Late-onset cerebral arteriopathy in a patient with incontinencia pigmenti	Brain Dev. 2021 Apr;43(4):580-584.	Case report
11	Ishida K, Nagira K, Hagino H, et al.	皮膚科	Elderly-onset type 1 mosaic form of Hailey-Hailey disease with a postzygotic variant in ATP2C1	J Dermatol. 2021 Apr;48(4):e182-e183.	Case report
12	Ogawa K, Iaira K, Donishi R, et al.	整形外科	Rheumatoid Arthritis Onset from Shoulder Monoarthritis	Open Access Rheumatol. 2021 May 7:13(103)-109.	Original Article
13	Kawamura K, Wada H, Nakaseko H, et al.	頭頸部診療科群	Preoperative predictors of dysphagia after transoral surgery	J Transplant Cell Ther. 2021 May 27(5):436.e1-436.e8.	Original Article
14	Omitsu Y, Miyazaki D, Shimizu Y, et al.	血液内科	Immunity and Vaccination Against Measles, Mumps, and Rubella in Adult Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplant Recipients	Jpn J Ophthalmol. 2021 May 65(3):428-431.	Original Article
15	Ohoyama T, Isomoto H,	第二内科診療科群	Efficacy of compartmentalization in controlling an adenovirus type 54 keratoconjunctivitis outbreak on Oki Island, Japan	Dig Endosc. 2021 May;33(4):549-551.	Original Article
16	Harada T, Kato R, Sueda Y, et al.	第二内科診療科群	Perspective gastrointestinal endoscopy infection control strategy against COVID-19: Workflow and space management for the operation of endoscopic centers	Mod Rheumatol. 2021 May 31(3):629-635.	Others
17	Yumoka T, Honda M, Terakawa S, et al.	第三内科診療科群	The efficacy and safety of reduced-dose sulfamethoxazole-trimethoprim for chemoprophylaxis of Pneumocystis pneumonia in patients with rheumatic diseases	Yonago Acta Med. 2021 May 10:64(2):184-191.	Others
18	Miyazaki D, J, Kandori-Inoue M,	泌尿器科	The Influence of Prior Abdominal Surgery on Robot-Assisted Partial Nephrectomy	Int J Mol Sci. 2021 May 22:22(11):5833.	Others
19	Uchinaka EI, Sakabe T, Hanaki T, et al.	眼科	Role Played by Receptors for Advanced Glycosylation End Products in Corneal Endothelial Cells after HSV-1 Infection	Anticancer Res. 2021 May 41(5):2543-2552.	Others
20	Yazama H, Hasegawa K, Kunimoto Y, et al.	病理部	Cytoplasmic-only Expression of Maspin Predicts Unfavorable Prognosis in Patients With Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Yonago Acta Med. 2021 May 20:64(2):222-228.	Others
21	Uejima C, Saito H, Tada Y, et al.	頭頸部診療科群	A Case of Cochlear Implantation in a Patient with Superficial Siderosis	Yonago Acta Med. 2021 May 20:64(2):176-183.	Others
22	Yoshioka D, Iwata M, Kaneko K,	第一外科診療科群	The Combination of Prognostic Nutritional Indicator and Serum Carcinoembryonic Antigen is Useful in Predicting Postoperative Recurrence in Stage II Colorectal Cancer	Front Psychiatry. 2021 May 19:12:641474.	Others
23	Sakabe T, Wakahara M, Shiota G, et al.	精神科	Case Report: GABAergic and Serotonergic Agents for the Treatment and Prevention of Prolonged Dissociative Stupor	Sci Rep. 2021 May 31;11(1):11321.	Others
24	Goto H, Sugita K, Yamamoto O,	病理部	Role of cytoplasmic localization of maspin in promoting cell invasion in breast cancer with aggressive phenotype	J Cutan Pathol. 2021 May 48(5):689-693.	Others
25	Kanda T, Yoshida A, Ochihara K, et al.	皮膚科	Interstitial granuloma after interferon-gamma and narrowband UVB therapy in a patient with mycosis fungoides: Immunological and histopathological considerations	Blomed Rep. 2021 Jul;15(1):62.	Others
26	Matsunaga T, Satio H, Miyazaki W, et al.	第二内科診療科群	Detection of cytokine storm in patients with achalasia using ELISA	World J Surg Oncol. 2021 Jun 11:19(1):170.	Others
27	Komatsu H, Watari H, Onodera Y, et al.	第一外科診療科群	Impact of skeletal muscle mass in patients with recurrent gastric cancer	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Jun 47(6):1973-1977.	Others
28	Kinugasa S, Nakamura K,	女性診療科群	Initiatives and achievements of the Japanese Society of Obstetrics and Gynecology, Obstetrics and Gynecology MIRAI Committee 2020	ESC Heart Fail. 2021 Jun 8(3):2103-2110.	Others
29	Tanishima S, Mihara T, Ogawa S, et al.	第一内科診療科群	Trimethylamine N-oxide and outcomes in patients hospitalized with acute heart failure and preserved ejection fraction	Sci Rep. 2021 Jun 15;11(1):12531.	Others
30	Fuji S, Mukuda N, Ochihara K, et al.	整形外科	Bilateral facet effusion is a risk factor for segmental instability with cervical injury without vertebral fracture	Jpn J Radiol. 2021 Jun;39(6):527-539.	Others
31	Kimura Y, Honda M, Terakawa S, et al.	放射線科	MR imaging findings of unusual leiomyoma and malignant uterine myometrial tumors: what the radiologist should know	Int J Urol. 2021 Jun;28(6):637-642.	Others
32	Nishiguchi T, Iwata M, Kaitani N, et al.	泌尿器科	Impact of penile rehabilitation with phosphodiesterase-5 inhibitors on recovery of erectile function in patients undergoing robot-assisted radical prostatectomy: A propensity score-matched analysis	Neuropsychopharmacol Rep. 2021 Jun 41(2):159-167.	Others
33	Yamamoto M, Ashida K, Hara K, Fuji S, Inoue G,	精神科	Stress increases blood beta-hydroxybutyrate levels and prefrontal cortex NLRP3 activity jointly in a rodent model	Yonago Acta Med. 2021 Jun 23:64(3):240-248.	Others
34	Kurumi H, Nonaka R, Ikebuchi Y, et al.	第一外科診療科群	Initial Experience in Rectal Cancer Surgery for the Next Generation of Robotic Surgeons Trained in a Dual Console System	Acta Radiol Open. 2021 Jun 9:10(6):20584601211022504.	Others
35	Mae Y, Ida A, Takata T, et al.	放射線科	Magnetic resonance imaging findings of endosalpingiosis: a case report	J Clin Med. 2021 Jun 29:10(13):2918.	Others
36	Okuda K, Hasegawa D, Kaniva T, et al.	第二内科診療科群	Fundamentals, Diagnostic Capabilities and Perspective of Narrow Band Imaging for Early Gastric Cancer	Nephrology (Carlton). 2021 Jun 26(6):561.	Others
37	Kato M, Yamamoto R,	放射線科	Administration route governs the complication: A case report of anaphylaxis due to intravenous erythropoiesis-stimulating agent	J Nucl Med Technol. 2021 Jun 49(2):138-142.	Others
38	Kihara K, Hara K, Suzegawa N, et al.	第一内科診療科群	Multicenter Study of Quantitative SPEC1: Reproducibility of (99m)Tc Quantitation Using a Conjugated-Gradient Minimization Reconstruction Algorithm	Heart Fail Clin. 2021 Jul;17(3):369-376.	Others
39	Koyama S, Morisaki T, Taika K, et al.	第一外科診療科群	Sleep Disorder and Heart Failure with Preserved Ejection Fraction	J Anus Rectum Colon. 2021 Jul 29:5(3):237-246.	Others
40	Yagyu T, Ohira T, Shimizu R, et al.	第二内科診療科群	Prognostic Significance of the Number of Teeth in Patients with Colorectal Cancer	Yonago Acta Med. 2021 Jul 6:64(3):234-239.	Others
41	Hagino H, Uemura Y, Mori S, et al.	頭頸部診療科群	Sequential Evaluation of Swallowing Function During Chemoradiotherapy for Head and Neck Cancer	Sci Rep. 2021 Jul 28;11(1):15355.	Others
42	Shishido Y, Amisaki M, Matsumi Y, et al.	第一外科診療科群	Human chromosome 3p21.3 carries TERT transcriptional regulators in pancreatic cancer	J Bone Miner Metab. 2021 Jul 33(4):658-677.	Others
43	Yamanashi T, Marra PS, Crichtley KL,	放射線科	Risk factors for incident vertebral fractures in osteoporosis pharmacotherapy: a 2-year, prospective, observational study	Ann Surg Oncol. 2021 Jul 28(7):3996-4006.	Others
44	Yoshida A, Kurumi H, Ikebuchi Y, et al.	精神科	Antitumor Effect of 5-Aminolevulinic Acid Through Ferroptosis in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Sci Rep. 2021 Jul 9;11(1):14211.	Others
45	Terakawa S, Honda M, Shimizu R, et al.	第二内科診療科群	Mortality among patients with sepsis associated with a bispectral electroencephalography (BSEEG) score	J Clin Med. 2021 Jul 23:10(13):2329.	Others
46	Wada I, Tanishima S, Kitsuda Y, et al.	泌尿器科	New Closure Method Using Loop and Open-Close Clips after Endoscopic Submucosal Dissection of Stomach and Colon Polyps	Yonago Acta Med. 2021 Jul 9:64(3):260-268.	Others
47	Yasuda K, Kidokoro Y, Makishima K, et al.	リハビリテーション部	Optimal Number of Systematic Biopsy Cores Used in Magnetic Resonance Imaging/ Transrectal Ultrasound Fusion Targeted Prostate Biopsy	J Clin Neurosci. 2021 Jul;89:8-14.	Others
48	Osaku D, Oishi T, Kawamura N, et al.	第二内科診療科群	Association between preoperative low muscle mass and psychological factors after surgery among patients with lumbar spinal stenosis: A longitudinal study	Surg Case Rep. 2021 Jul 8;7(1):158.	Others
49	Kawashima- Sonoyama Y, Okuno Y, Yoshida A, Takata T, Kanda T, et al.	第一外科診療科群	A rare case of combined thymoma and a multicentric thymic cyst discovered due to chest pain	Reprod Med Biol. 2021 Jul 23:20(4):467-476.	Others
50	Tanaka Y, Ohno T, Kadonaga T, et al.	小児科	Differential expression of estrogen receptor subtypes in ovarian high-grade serous carcinoma and clear cell carcinoma	Hum Genome Var. 2021 Jul 12:8(1):27.	Others
51	Okazaki I, Yamada H, Matsunaga K, et al.	第二内科診療科群	The case of a patient with MIRAGE syndrome with familial dysautonomia-like symptoms	Sci Rep. 2021 Jul 27;11(1):15282.	Others
52	Tanimura C, Okuda F, M, Onoyama T, Ikebuchi Y, et al.	病理部	Impact of endoscopic submucosal dissection and epithelial cell sheet engraftment on systemic cytokine dynamics in patients with esophageal cancer	Breast Cancer. 2021 Jul;28(4):822-828.	Others
53	Yoshida A, Kurumi H, Ikebuchi Y, et al.	遺伝子診療科	Podoplanin expression in cancer-associated fibroblasts predicts unfavorable prognosis in node-negative breast cancer patients with hormone receptor-positive/HER2-negative subtype	Hum Genome Var. 2021 Jul 12:8(1):26.	Others
54	Yoshida A, Kurumi H, Ikebuchi Y, et al.	看護部	Clinical course of epilepsy and white matter abnormality linked to a novel DYRK1A variant	Yonago Acta Med. 2021 Aug 24:64(3):303-314.	Others
55	Watanabe T, Yazama H, Kunimoto Y, et al.	第二内科診療科群	Development of a Reflective Ability Scale for Clinical Nurses	Endoscopy. 2021 Aug;53(8):E291-E292.	Others
56	Shishido Y, Matsunaga T, Sawata H, Terakawa Y, et al.	頭頸部診療科群	A novel humanoid-robot simulator for colonoscopy	Yonago Acta Med. 2021 Aug 24:64(3):318-323.	Others
57	Iwada M, Yunaga H, Murakami A, et al.	第一外科診療科群	A Case of Gorham-Stout Disease Treated with Fistula Closure by Transmental Approach	Yonago Acta Med. 2021 Aug 24:64(3):249-259.	Others
58	Hoshino Y, Sugihara T, Ikeda S, et al.	第二外科診療科群	Platelet-to-Lymphocyte Ratio Multiplied by the Cytokeratin-19 Fragment Level as a Predictor of Pathological Response to Neoadjuvant Chemotherapy in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2021 Aug 18;33(3):409-417.	Others
59	Nagira K, Hagino H, Enokida M, et al.	胸部外科診療科群	Comparison between robot-assisted thoracoscopic surgery and video-assisted thoracoscopic surgery for mediastinal and hilar lymph node dissection in lung cancer surgery	Radiography (Lond). 2021 Aug;27(3):768-772.	Others
60	Okawa M, Komatsu H, Ida Y, et al.	放射線科	Adaptive statistical iterative reconstruction for computed tomography of the spine	BMC Med Imaging. 2021 Aug 9:21(1):120.	Others
61	Nagira K, Hagino H, Enokida M, et al.	第二内科診療科群	A vein-viewing application enabled detecting abdominal wall varices related to the presence of non-treated gastroesophageal varices: a cross-sectional study	Mod Rheumatol. 2021 Aug 31:1-6.	Others
62	Okawa M, Komatsu H, Ida Y, et al.	整形外科	Evaluating the efficacy and safety of ureteral stent placement as a preoperative procedure for gynecological cancer surgeries: A retrospective cohort study	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Aug 47(8):2752-2757.	Others
63	Kihara K, Horie H, Miyatani K, et al.	女性診療科群	A rare case of sigmoid colon cancer in which the lower limbs received collateral blood flow from the inferior mesenteric artery owing to peripheral artery disease	Surg Case Rep. 2021 Aug 21:7(1):190.	Others
64	Ohitani F, Miyazaki D, Shimizu Y, et al.	第一外科診療科群	Role of interferon regulatory factor 7 in corneal endothelial cells after HSV-1 infection	Sci Rep. 2021 Aug 13;11(1):16487.	Others
65	Kambe A, Kuwanoto S, Shimizu T, et al.	眼科	Case of intraocular myxoid mesenchymal tumor with EWSR1-CREM fusion in an adult female: Extensive immunohistochemical evaluation	Neuropathology. 2021 Aug;41(4):315-323.	Others
66		脳神経外科			

67	Sakuwa M, Adachi T, Yoshida K, et al.	脳神経内科	An autopsy case of PARK2 due to a homozygous exon 2 deletion of parkin and associated with α -synucleinopathy	Neuropathology. 2021 Aug;41(4):293-300.	Others
68	Fukushima K, Iaba N, Kono Y, et al.	小児科	Secreted matrix metalloproteinase-14 is a predictor for antifibrotic effect of IC-2-engineered mesenchymal stem cell sheets in liver fibrosis in mice	Regen Ther. 2021 Aug 26;18:292-301.	Others
69	Goto H, Sugita K, Yamamoto O.	皮膚科	Limitation of Using Ultrasonography After Positive Sentinel Lymph Node Biopsy in a Patient with Melanoma in the Detection of Lymph Node Metastasis	Yonago Acta Med. 2021 Aug 26;64(3):315-317.	Others
70	Kinugasa Y, Saitoh M, Ikegami T, et al.	第一内科診療科群	Differences in Priorities for Heart Failure Management Between Cardiologists and General Practitioners in Japan	Circ J. 2021 Aug 25;85(9):1565-1574.	Others
71	Yamanashi T, Saito T, Yu T, et al.	精神科	DNA methylation in the TNF- α gene decreases along with aging among delirium inpatients	Neurobiol Aging. 2021 Sep;105:310-317.	Others
72	Morisaki T, Fukuhara T, Ehara J.	頭頸部診療科群	A Novel Concept for Surgical Management of a Traumatic Comminuted Cricoid Fracture	Ear Nose Throat J. 2021 Sep 1:1455613211040579.	Others
73	Honda M, Yokoyama O, Takahashi R.	泌尿器科	Botulinum toxin injections for Japanese patients with urinary incontinence caused by neurogenic detrusor overactivity: Clinical evaluation of onabotulinumtoxinA in a randomized, placebo-controlled, double-blind trial with an open-label	Int J Urol. 2021 Sep;28(9):906-912.	Others
74	Ikebuchi Y, Kurumi H, Isomoto H.	第二内科診療科群	New tips for photodynamic therapy of esophageal cancer	Dig Endosc. 2021 Sep;33(6):e117-e118.	Others
75	Ritsuda Y, Wada T, Noma H, et al.	リハビリテーション部	Impact of high-load resistance training on bone mineral density in osteoporosis and osteopenia: a meta-analysis	J Bone Miner Metab. 2021 Sep;39(5):787-803.	Others
76	Yazama H, Kunimoto Y, Yokoyama Y, et al.	頭頸部診療科群	Hemostatic Control with Gelatin Sponge and Quantum Molecular Resonance Coagulation in a Case of Glomus Tympanicum	Yonago Acta Med. 2021 Sep 30:64(4):364-368.	Others
77	Matsumoto K, Hara K, Yasuda T, et al.	第二内科診療科群	Usefulness of a target sample check illuminator in the detection of target specimens in endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy samples: Multicenter prospective study	Dig Endosc. 2021 Sep;33(6):970-976.	Others
78	Kawasaki M, Sakabe T, Kodani I, et al.	歯科口腔外科	Cytoplasmic-only Expression of Maspin Predicts Poor Prognosis in Patients With Oral Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Res. 2021 Sep;41(9):4563-4570.	Others
79	Kurumi H, Kanda T, Ikebuchi Y, et al.	第二内科診療科群	Current Status of Photodynamic Diagnosis for Gastric Tumors	Diagnostics (Basel). 2021 Oct 22;11(1):1967.	Others
80	Yanagihara K, Kinugasa Y, Kunimi O, et al.	第一内科診療科群	Child ego state and self-care behavior change in heart failure patients	J Cardiol. 2021 Oct;78(4):294-300.	Others
81	Ochiai Y, Yoshikawa Y.	心臓血管外科	Cost analysis of transcatheter versus surgical aortic valve replacement in octogenarians: analysis from a single Japanese center	Heart Vessels. 2021 Oct;36(10):1558-1565.	Others
82	Morizane S, Yumioka T, Makishima K, et al.	泌尿器科	Impact of positive surgical margin status in predicting early biochemical recurrence after robot-assisted radical prostatectomy	Int J Clin Oncol. 2021 Oct;26(10):1961-1967.	Others
83	Hagino H, Jackson M, Gidlin J, et al.	リハビリテーション部	Estimating the future clinical and economic benefits of improving osteoporosis diagnosis and treatment among women in Japan: a simulation projection model from 2020 to 2040	Arch Osteoporos. 2021 Oct 12:160:156.	Others
84	Yada Y, Matsumi Y, Hara K, et al.	第一外科診療科群	Infiltration of CD204-overexpressing Macrophages Contributes to the Progression of Stage II and III Colorectal Cancer	Anticancer Res. 2021 Oct;41(10):4857-4865.	Others
85	Morimoto M, Taniguchi K.	第二外科診療科群	Preoperative white blood cell count predicts anastomotic leakage in patients with left-sided colorectal cancer	PLoS One. 2021 Oct 20:16(10):e0258713.	Others
86	Kurumi H, Onoyama T, Isomoto H, et al.	第二内科診療科群	How to manage esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa after endoscopic resection	J Gastroenterol. 2021 Oct;56(10):1449-1450.	Others
87	Sakuwa M, Adachi T, Suzuki Y, et al.	脳神経内科	First Japanese autopsy case showing LRRK2 mutation G2019S and TDP-43 proteinopathy	Parkinsonism Relat Disord. 2021 Oct;91:85-87.	Case report
88	Goto H, Yoshida Y, Yamamoto O.	皮膚科	Late contralateral lymph node metastasis of basal cell carcinoma on the scrotum	Eur J Dermatol. 2021 Oct 1:31(5):654-655.	Case report
89	Tsutsumi R, Yoshida Y, Yamamoto O.	皮膚科	Minute Acral Melanoma	JAMA Dermatol. 2021 Nov 1:157(11):1471.	Original Article
90	Ogawa S, Chikumi H, Tanishima S, et al.	整形外科	Evaluation of infections in orthopedic patients using next-generation sequencing	J Infect Chemother. 2021 Nov;27(11):1626-1633.	Original Article
91	Fukuhara T, Matsuda F, Ozawa N, Nakamura Y.	頭頸部診療科群	Use of Cervical Ultrasonography in Globus Sensation Investigation: A Retrospective Cohort Study	Yonago Acta Med. 2021 Nov 29:64(4):360-363.	Original Article
92	Okazaki T, Yamada Y, Osaka D, Taniguchi E, Komatsu H, et al.	脳神経小児科	Progressive cerebral atrophies in three children with COL4A1 mutations	Brain Dev. 2021 Nov;43(10):1033-1038.	Case report
93	Okazaki T, Yamada Y, Osaka D, Taniguchi E, Komatsu H, et al.	女性診療科群	Calcified Ovarian Fibromas Complicated with Basal Cell Nevus Syndrome	Gynecol Minim Invasive Ther. 2021 Nov 5:10(4):256-258.	Case report
94	Matsumura T, Saito H, Miyachi W, et al.	第一外科診療科群	Impact of skeletal muscle mass in patients with unresectable gastric cancer who received palliative first-line chemotherapy based on 5-fluorouracil	BMC Cancer. 2021 Nov 13:21(1):1219.	Original Article
95	Osaka D, Komatsu H, Okawa M, et al.	女性診療科群	Re-classification of uterine cervical cancer cases treated with radical hysterectomy based on the 2018 FIGO staging system	Taiwan J Obstet Gynecol. 2021 Nov;60(6):1054-1058.	Original Article
96	Yumoto K, Honda M, Shimizu R, et al.	泌尿器科	Response to Platinum-based Chemotherapy Rechallenge for Patients With Pembrolizumab-refractory Urothelial Carcinoma	Anticancer Res. 2021 Nov;41(11):5767-5773.	Original Article
97	Maeda M, Okanishi T, Miyamoto Y, et al.	脳神経小児科	Predicting the Onset of Acute Encephalopathy With Biphasic Seizures and Late Reduced Diffusion by Using Early Laboratory Data	Front Neurol. 2021 Nov 1:12:730535.	Original Article
98	Koyama A, Miyazaki D, Nakagawa Y, et al.	眼科	Determination of probability of causative pathogen in infectious keratitis using deep learning algorithm of slit-lamp images	Sci Rep. 2021 Nov 22;11(1):22642.	Original Article
99	Hikita K, Honda M, Shimizu R, et al.	泌尿器科	The influence of the long duration from biopsy to surgery on biochemical recurrence after robot-assisted radical prostatectomy in Japanese patients	Asian J Surg. 2021 Nov 19:S1015-9584(21)00664-3.	Original Article
100	Iwamoto H, Nosaka K, Miyoshi H, et al.	泌尿器科	Is Preoperative Magnetic Resonance Imaging in a Daily Clinical Setting Useful to Evaluate Tumor Invasion Beyond the Pseudocapsule in Renal Cell Carcinoma?	Yonago Acta Med. 2021 Nov 29:64(4):345-352.	Original Article
101	Hagino H, Sugimoto T, Tanaka S, et al.	リハビリテーション部	A randomized, controlled trial of once-weekly teriparatide injection versus alendronate in patients at high risk of osteoporotic fracture: primary results of the Japanese Osteoporosis Intervention Trial-05	Osteoporos Int. 2021 Nov;32(11):2301-2311.	Original Article
102	Miyachi W, Matsumura T.	第一外科診療科群	Comparisons of Postoperative Complications and Nutritional Status After Proximal Laparoscopic Gastrectomy with Esophagojejunostomy and Double-Tract Reconstruction	Yonago Acta Med. 2020 Nov 24:63(4):335-342.	Original Article
103	Teramoto K, Takeda T, Mihara N, et al.	医療情報部	Detecting Adverse Drug Events Through the Chronological Relationship Between the Medication Period and the Presence of Adverse Reactions From Electronic Medical Record Systems: Observational Study	JMIR Med Inform. 2021 Nov 1:9(1):e28763.	Original Article
104	Kimura R, Sugita K, Sugihara T, et al.	皮膚科	Treatment of Digital Ulcers and Reflux Oesophagitis in a Patient with Systemic Sclerosis: Increased Risk of Hepatotoxicity due to a Potential Drug-drug Interaction Between Rosentan and Voponozan	Acta Derm Venereol. 2021 Nov 24:101(11):adv00600.	Letter
105	Okamoto T, Miyachi W, Yamamoto M.	脳神経小児科	Corpus Callosotomy for Controlling Epileptic Spasms: A Proposal for Surgical Selection	Brain Sci. 2021 Dec 1:11(12):1601.	Review
106	Koyama S, Fujiwara R, Morisaki T, et al.	第一外科診療科群	Colonic metastasis of hepatocellular carcinoma with repeated retroperitoneal bleeding: a case report	Surg Case Rep. 2021 Dec 18:7(1):261.	Case report
107	Koyama S, Fujiwara R, Morisaki T, et al.	頭頸部診療科群	Cetuximab and paclitaxel combination therapy for recurrent basaloid squamous cell carcinoma in the ethmoid sinus	Auris Nasus Larynx. 2021 Dec;48(6):1189-1192.	Case report
108	Sakamoto I, Arai K, Makishima K, et al.	第三内科診療科群	BRAF V600E-mutated combined large cell neuroendocrine carcinoma and adenocarcinoma responding to targeted therapy	BMJ Case Rep. 2021 Dec 20:14(12):e23395.	Case report
109	Ikebuchi Y, Sugihara T, Kihara T, Matsuki Y, Saito H, Shimizu S, Shishido Y, et al.	第二内科診療科群	Pemafibrate Ameliorates Liver Dysfunction and Fatty Liver in Patients with Non-Alcoholic Fatty Liver Disease with Hypertriglyceridemia: A Retrospective Study with the Outcome after a Mid-Term Follow-Up	Diagnostics (Basel). 2021 Dec 9:11(12):2316.	Original Article
110	Saito H, Shimizu S, Shishido Y, et al.	第一外科診療科群	Prognostic significance of the combination of preoperative red cell distribution width and platelet distribution width in patients with gastric cancer	BMC Cancer. 2021 Dec 9:21(1):1317.	Original Article
111	Yagi S, Sasaki I, Fukuhara T, et al.	形成外科	Hemodynamic Analysis of a Three-Point Suture During Tapering Technique for Microanastomosis Using Computational Fluid Dynamics	J Craniofac Surg. 2021 Nov-Dec 61:3(28):e749-e753.	Original Article
112	Sugita K, Ito A, Yamamoto O.	第二内科診療科群	Mycosis Fungoides Associated with Pseudoepitheliomatous Hyperplasia	Indian J Dermatol. 2021 Mar-Apr;66(2):227.	Original Article
113	Goto H, Sugita K, Yamamoto O.	皮膚科	Expression of Programmed Death-Ligand 1 and Programmed Death-1 in Patients with Extramammary Paget's Disease	Indian J Dermatol. 2021 Mar-Apr;66(2):169-173.	Original Article
114	Sugita K, Ikeida A, Kimura R, et al.	皮膚科	Novel Ultrastructural Findings of Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplasm	Indian J Dermatol. 2021 Mar-Apr;66(2):195-196.	Original Article
115	Yoshida A.	第二内科診療科群	Usefulness of step-by-step double-clip-with-line method in duodenal endoscopic submucosal dissection	Ann Gastroenterol. 2021 Jul-Aug;34(4):598.	Original Article
116	Hagino H, Tanaka K, Silverman S, et al.	リハビリテーション部	Cost effectiveness of romosozumab versus teriparatide for severe postmenopausal osteoporosis in Japan	Osteoporos Int. 2021 Oct;32(10):2111-2021.	Original Article
117	Hoshino Y, Sugihara T, Ikeida A, et al.	第二内科診療科群	Newly Invented Micellized Vitamin K2 Recovered Prolonged Prothrombin Time under Obstructive Jaundice in Rats with Bile Duct Ligation	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2021;67(6):387-403.	Original Article
118	Komatsu H, Okawa M, Hikino K, et al.	女性診療科群	A simplified procedure of nerve-sparing radical hysterectomy	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Jan;48(3):766-773.	Original Article
119	Inagaki Y, Yamakage M, Sakamoto A, et al.	麻酔診療科群	The Efficacy and Safety of Dexmedetomidine for Sedation During Surgery Under Epidural or Spinal Anesthesia: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study	Yonago Acta Med. 2022 Jan 4:65(1):14-25.	Original Article
120	Matsushige I, Sakabe T, Komatsu H, et al.	病理部	Investigation of the Subcellular Localization-Dependent Anti- or Pro-Tumor Functions of Maspin in Human Lung Adenocarcinoma Cell Line	Yonago Acta Med. 2022 Jan 4:65(1):44-52.	Original Article
121	Ikebuchi Y, Komatsu H, Okawa M, et al.	女性診療科群	Is Adjuvant Chemotherapy Necessary in Patients with Early Endometrial Cancer?	Yonago Acta Med. 2022 Feb 22:65(1):82-87.	Original Article
122	Nagase D, Akura J, Omatsu Y, et al.	眼科	Intraoperative Measurement of Crystalline Lens Diameter in Living Humans	Yonago Acta Med. 2022 Feb 3:65(1):53-62.	Original Article
123	Kinugasa Y, Saitoh M, Ikegami T, et al.	第一内科診療科群	Quality Indicators in Patient Referral Documents for Heart Failure in Japan	Int Heart J. 2022 Mar 30;63(2):278-285.	Case report
124	Yoshimura M, Ueda T, Ogoshi T, et al.	救急科	Estimation of Postcardiac Arrest Interval Based on Atrial Cavity Density in Postmortem Computed Tomography	Yonago Acta Med. 2022 Jan 4:65(1):8-13.	Original Article
125	Iizawa S, Matsumoto K, Matsuzawa K, et al.	第一内科診療科群	Sex Difference in the Association of Osteoporosis and Osteopenia Prevalence in Patients with Adrenal Adenoma and Different Degrees of Cortisol Excess	Int J Endocrinol. 2022 Mar 18:2022:5009395.	Original Article
126	Miyamoto K, Komatsu H, Okawa M, Namba N, Kubota I, Muroya K, et al.	女性診療科群	D-dimer level significance for deep vein thrombosis screening in the third trimester: a retrospective study	BMC Pregnancy Childbirth. 2022 Jan 8:24(1):21.	Original Article
127	Namba N, Kubota I, Muroya K, et al.	小児科	Safety and Efficacy of Burosumab in Pediatric Patients With X-Linked Hypophosphatemia: A Phase 3/4 Open-Label Trial	J Endocr Soc. 2022 Feb 11:6(5):bvac021.	Case report
128	Hosoya K, Nosaka K, Sakabe T, et al.	胸部外科診療科群	Clinical Significance of Serglycin Expression in Human Breast Cancer Patients	Anticancer Res. 2022 Jan;42(1):279-285.	Case report
129	Takeda Y, Matsumoto K.	第二内科診療科群	Efficacy and Safety of Pancreatic Juice Cytology with Synthetic Secretin in Diagnosing Malignant Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas	Diagnostics (Basel). 2022 Mar 18:12(3):744.	Original Article
130	Shimizu K, Ohira T, Yagyu T, et al.	泌尿器科	Activation of PPAR γ in bladder cancer via introduction of the long arm of human chromosome 9	Oncol Lett. 2022 Mar;23(3):92.	Original Article
131	Horie H, Hisatome I, Kurata Y, et al.	心臓血管外科	α 1-Adrenergic receptor mediates adipose-derived stem cell sheet-induced protection against chronic heart failure after myocardial infarction in rats	Hypertens Res. 2022 Feb;45(2):283-291.	Original Article
132	Hamada S, Takata T, Inagaki Y, Morita K, Ozaki M, et al.	第二内科診療科群	Steatosis is involved in the progression of kidney disease in a high-fat-diet-induced non-alcoholic steatohepatitis mouse model	PLoS One. 2022 Mar 16:17(3):e0255461.	Original Article
133	Inagaki Y, Morita K, Ozaki M, et al.	麻酔診療科群	The Efficacy and Safety of Dexmedetomidine for Procedural Sedation in Patients Receiving Local Anesthesia Outside the Intensive Care Unit: A Prospective, Double-Blind, Randomized Clinical Phase III Trial in Japan	Yonago Acta Med. 2022 Jan 21:65(1):26-43.	Original Article
134	Goto K, Osaki M, Iizumi R, et al.	第一外科診療科群	Establishment of an antibody specific for AMIGO2 improves immunohistochemical evaluation of liver metastases and clinical outcomes in patients with colorectal cancer	Diagn Pathol. 2022 Jan 30;17(1):16.	Case report
135	Tsutsumi R, Yoshida Y, Goto H, et al.	皮膚科	Thyroid-shaped iododerma on the neck	Contact Dermatitis. 2022 Feb;86(2):132-134.	Case report
136	Kurumi H, Isomoto H.	第二内科診療科群	Special Issue "The Next Generation of Upper Gastrointestinal Endoscopy"	Diagnostics (Basel). 2022 Jan 9:12(1):152.	Others
137	Miyamoto K, Komatsu H, Nagaya M, Y, Takata T, et al.	女性診療科群	Changes in serum D-dimer level and effect of enoxaparin sodium after a cesarean section: a retrospective study	J Matern Fetal Neonatal Med. 2022 Feb;35(3):509-514.	Original Article
138	Mae Y, Takata T, Yamada K, et al.	第二内科診療科群	Creatinine generation rate can detect sarcopenia in patients with hemodialysis	Clin Exp Nephrol. 2022 Mar;26(3):272-277.	Original Article

139	Harada T, Osuga Y, Sasaki Y, et al.	女性診療科群	Relugolix, an oral gonadotropin-releasing hormone receptor antagonist, reduces endometriosis-associated pain compared with leuprorelin in Japanese women: a phase 3, randomized, double-blind, noninferiority study	Fertil Steril. 2022 Mar;117(3):583-592.	Original Article
140	Sugihara T, Ohnita Yamada H, Okanishi T, Okazaki T, et al.	第二内科診療科群	Pyloric Incompetence Associated with Helicobacter pylori Infection and Correlated to the Severity of Atrophic Gastritis	Diagnostics (Basel). 2022 Feb 23;12(3):572.	Original Article
141	Takami A, Kinugasa Y, Kamitani H, et al.	脳神経小児科	Gait disturbance in a patient with de novo 1.0-kb SOX2 microdeletion	Brain Dev. 2022 Jan;44(1):68-72.	Case report
142	Ochiai R, Mukuda N, Yamaga H, et al.	第一内科診療科群	Simple Score to Predict Treatment Response to Low-Dose Tolvaptan in Patients with Heart Failure	Int J Heart J. 2022 Mar 30;63(2):247-254.	Original Article
143	Chikuma T, Oishi T, Nakaso T, et al.	放射線科	Amide proton transfer imaging in differentiation of type II and type I endometrial carcinoma: a pilot study	Jpn J Radiol. 2022 Feb;40(2):184-191.	Original Article
144	Takano S, Hasegawa T, Masuda K, et al.	女性診療科群	Endometrial Cancer Arising in Adenomyosis That Could Not Be Diagnosed by Endometrial Biopsy: A Case Report	Yonago Acta Med. 2022 Jan 29;65(1):106-110.	Case report
145	Okamishi T, Maeda Morizane S, Honda M, Shimizu R, et al.	第二内科診療科群	Precaucorous Pyloric Gland Metaplasia in the Biliary Epithelium Associated with Congenital Biliary Dilatation in a Three-Month-Old Infant	Yonago Acta Med. 2022 Jan 21;65(1):96-100.	Case report
146	Myamoto Y, Sugihara T, et al.	脳神経小児科	Involuntary movements as a prognostic factor for acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion	Brain Dev. 2022 Feb;44(2):122-130.	Original Article
147	Murawaki Y, Sakauchi H, Tsuchiya H, et al.	泌尿器科	Extent of pelvic lymph node dissection improves early oncological outcomes for patients with high-risk prostate cancer without lymph node involvement after robot-assisted radical prostatectomy	Int J Clin Oncol. 2022 Apr;27(4):781-789.	Original Article
148	Takata I, Mae Y, Sugihara T, et al.	泌尿器科	Sarcopenia is associated with survival in patients with urothelial carcinoma treated with systemic chemotherapy	Int J Clin Oncol. 2022 Jan;27(1):175-183.	Original Article
149	Yoshida A, Sugita K, Yamada N, et al.	第二内科診療科群	Infective Endocarditis-Associated Glomerulonephritis: A Comprehensive Review of the Clinical Presentation, Histopathology, and Management	Yonago Acta Med. 2022 Jan 28;65(1):1-7.	Review
150	Okumura K, Kawaba D, Maetani A, et al.	第一外科診療科群	Gallbladder Cancer with Biliary Intraepithelial Neoplasia Complicated by Pancreaticobiliary Maljunction: A Case Report	Yonago Acta Med. 2022 Jan 21;65(1):101-105.	Case report
151	Utani R, Miyazaki D, Shimizu Y, et al.	放射線治療科	NEAT1 Confers Radioresistance to Hepatocellular Carcinoma Cells by Inducing Autophagy through GABARAP	Int J Mol Sci. 2022 Jan 10;23(2):711.	Original Article
152	Yoshida A, Sugita K, Yamada N, et al.	皮膚科	Adult-onset Still's Disease Secondary to Cytophagic Histiocytic Panniculitis	Acta Derm Venereol. 2022 Jan 26;102:adv00639.	Letter
153	Okumura K, Kawaba D, Maetani A, et al.	小児科	A high-risk alveolar rhabdomyosarcoma case with Duchenne muscular dystrophy	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14754.	Case report
154	Utani R, Miyazaki D, Shimizu Y, et al.	眼科	Antiviral cytotoxic T lymphocyte responses for long term prognosis of corneal infection by cytomegalovirus in immunocompetent subjects	Sci Rep. 2022 Mar 30;12(1):5419.	Original Article
155	Yoshida A, Sugita K, Yamamoto Y, et al.	皮膚科	Infiltrative Erythemas and Nodules on a Unilateral Cheek Following Inappropriate Use of a Topical Steroid	Yonago Acta Med. 2022 Jan 14;65(1):88-89.	Case report
156	Okumura K, Kawaba D, Maetani A, et al.	第一内科診療科群	The sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor ipragliflozin improves liver function and insulin resistance in Japanese patients with type 2 diabetes	Sci Rep. 2022 Feb 3;12(1):1896.	Case report
157	Teramoto K, Kuwata S, Hamamoto M, et al.	医療情報部	Range-Measurement Sensor to Improve the Authentication Workflow for Users of a Hospital Information System: A Proof-of-Concept Study	Stud Health Technol Inform. 2022 Jan 14;289:496-497.	Original Article
158	Maegaki M, Kawamura K, Hara Y, Yoshida Y, Kataoka S, et al.	血液内科	(Successful outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for systemic mastocytosis complicated with acute myeloid leukemia)	Rinsho Ketsueki. 2022;63(1):14-19.	Case report
159	Okumura K, Kawaba D, Maetani A, et al.	皮膚科	Rhabdomyomatous Mesenchymal Hamartoma: A New Proposed Clinical Classification of Adult Onset Acquired Type	Acta Derm Venereol. 2022 Jan 26;102:adv00627.	Letter

計159件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、または et al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名 出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	陶山 淑子, 八木 俊路朗	形成外科	【ベト咬創への初期治療と機能・整容の改善(3)-顔面の組織欠損を伴うライズ咬創(2)口唇以外-】上下眼瞼欠損を伴うライズ咬創の1例	形成外科0021-5228/64巻4号 Page375-381(2021.04)	Original Article
2	小山 敬雄, 本田 正史, 中岡 崇浩	泌尿器科	Pembrolizumabの中止後も長期間のdurable responseが得られた進行性膀胱癌の1例	西日本泌尿器科0029-0726/83巻1号 Page37-41(2021.04)	Original Article
3	松澤 和彦	薬物療法内科	【甲状腺眼症治療】甲状腺眼症診療におけるMRI T1 Mappingの有用性(簡潔表題:甲状腺眼症とMRI T1 mapping)	日本甲状腺学会雑誌2189-3126/12巻1号 Page79-84(2021.04)	Original Article
4	前田 義弘, 大野 沢子, 阪本 隆実	脳神経小児科	鳥取県における発達障がい児童の二次障がいと関連要因に関する研究	疾病構造の地域特性対東専門委員会報告35巻 Page1-6(2021.05)	Original Article
5	中村 義典, 松田 昌樹, 阪本 隆実	胸部外科診療科群	鳥取県における若年者肺癌の臨床病理学的特徴と予後	疾病構造の地域特性対東専門委員会報告35巻 Page19-24(2021.05)	Original Article
6	磯本 一, 河川 剛一郎	第二内科診療科群	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌症例の死因に関するコホート研究	疾病構造の地域特性対東専門委員会報告35巻 Page34-39(2021.05)	Original Article
7	森野 浩, 河上 伸明, 飯塚 幸彦	リハビリテーション部	骨折リエンサーサービス実態調査	日本骨粗鬆症学会雑誌2189-8383/73巻2号 Page265-275(2021.05)	Original Article
8	神部 敬司, 高見 晃晃, 清水 剛	脳神経外科	悪性神経膠腫におけるBevacizumab治療効果に関連した画像的特徴	C研究0918-7073/43巻1号 Page23-32(2021.06)	Original Article
9	阪本 隆実, 清水 龍太郎, 中岡 崇彦	泌尿器科	後腹膜Perivascular epithelioid cell tumor(PEComa)の1例	西日本泌尿器科0029-0726/83巻2号 Page116-120(2021.06)	Original Article
10	大倉 毅	第一内科診療科群	2型糖尿病における新規インスリン抵抗性治療標的FABP4の検討	臨床薬理の進歩0914-4366/42号 Page169-174(2021.06)	Original Article
11	河津 寛利, 伊藤 隆一, 藤岡 洋平	第一内科診療科群	VHL遺伝子の体細胞変異を基盤に発症した腹部paragangliomaの1例	日本内分泌学会雑誌0029-0661/97巻Suppl Update Page81-	Original Article
12	松重 貴大	病理部	Gomori's one-step trichrome染色法における代替媒染剤の有用性に関する実証研究	医学検査0915-8669/70巻3号 Page16-42(2021.07)	Original Article
13	太田 雄大, 福井 亮平	放射線部	【COVID-19肺炎と肺疾患AI開発のフロントライン】トモシンセシス撮影におけるX線画像回転中心の高設定が投影画像解像特性に及ぼす影響	医用画像情報学会雑誌0910-1543/38巻8号 Page108-	Original Article
14	阪本 隆人, 三好 浩志, 山本 徳樹	薬剤部	フルファン投与下の経管栄養剤の変更・中止に伴いPT-INRが著しく変動した症例	医療薬学1346-342X/47巻7号 Page364-371(2021.07)	Original Article
15	永坂 天和, 池田 隆規, 星野 由樹	第二内科診療科群	抗てんかん薬長期服用中の若年男性に生じた炎症性肝細胞腫瘍の1例除根	肝臓0451-4203/62巻7号 Page420-428(2021.07)	Original Article
16	栗 幸弘, 山本 康嗣, 宮本 三輔	女性診療科群	膀胱子宮内膜症に対しロボット支援膀胱部分切除術を施行した1例	日本エヌメソウ学会誌422巻1号 Page47-50(2021.07)	Original Article
17	阪本 智子, 高橋 美穂, 清水 由美子	眼科	Proteus mirabilisとColletotrichum fructicolaの混合感染による角膜炎の1例	臨床眼科0370-5579/75巻7号 Page925-931(2021.07)	Original Article
18	藤田 義典, 田村 隆行, 土井 潤恵子	歯科口腔外科	歯科インプラントに関連した口腔扁平上皮癌の1例	Japanese Journal of Maxillo Facial Implants1347-894X/20巻2号	Original Article
19	田村 丈, 本田 正史, 清水 龍太郎	泌尿器科	左腎刺傷Ⅲb型に対し腎動脈塞栓後に腎摘除術を施行した1例	西日本泌尿器科0029-0726/83巻3号 Page167-170(2021.08)	Original Article
20	片岡 伴記, 星島 光博, 上岡 寛	歯科口腔外科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて上下顎前歯の圧下により治療したガミースマイルを示す過蓋咬合症例	中・西国矯正歯科学会雑誌0915-7581/33巻1号 Page29-37(2021.08)	Original Article
21	上田 敬博	救急科	広範囲熱傷治療の変遷 アログラフを用いない自家培養表皮による治療戦略	鳥取医学雑誌0388-3795/49巻1-2号 Page1-5(2021.08)	Original Article
22	上村 仁志, 坂田 晋史, 上田 啓之	小児科	当院における川崎病患者に対する3rd line治療としてのステロイドパルス療法の有効性の検討	鳥取医学雑誌0388-3795/49巻1-2号 Page20-24(2021.08)	Original Article
23	山本 真哉, 山根 歩夢, 平下 孝子, 他	看護部	腎細胞がんに対する分子標的薬治療患者の手足症候群に対する予防行動と対処行動に関する実態調査	日本看護学会論文集:在宅看護51号 Page139-149(2021.09)	Original Article
24	宮本 幸徳, 松尾 啓朗, 藤田 祥平	第一外科診療科群	胃癌腹水中エクソソームに存在するmicroRNAの臨床応用に向けた基礎的研究	米子医学雑誌0044-0558/72巻1-4号 Page1-5(2021.08)	Original Article
25	富田 恵子, 花本 啓一	看護部	大学病院新人看護士のレジリエンスとその関連要因	米子医学雑誌0044-0558/72巻1-4号 Page26-33(2021.08)	Original Article
26	引田 寛隆, 倉澤 尊一, 本田 正史	泌尿器科	Advanced Reconstruction of Vesicourethral Support施行によるロボット支援前立腺全摘除術後早期尿禁制に関する検討	Japanese Journal of Endourology2186-1889/34巻2号	Original Article
27	中島 由希子, 奥野 智介, 前田 敬	小児科	免疫性血小板減少性紫斑病の発症を契機に診断されたSjogren症候群の小児例	津山中央病院医学雑誌0913-9176/35巻1号 Page35-42(2021.09)	Original Article
28	小野 雅哉, 中條 雅弘, 山本 典子	看護部	心臓手術時に待機する家族が抱く不安とコーピング	日本手術看護学会誌1880-4780/17巻1号 Page139-140(2021.09)	Original Article
29	小倉 秋子, 小山 哲史, 森崎 剛史	看護部	クリティカルパス導入による頭頸部がん化学放射線療法中の体重減少の抑制効果	頭頸部癌1349-3747/47巻83号 Page303-310(2021.10)	Original Article
30	松澤 和彦, 岡崎 悠介, 宮城 典子	遺伝子診療科	8年間の経過を経て若年成人期に遺伝学的検査を実施したリー・フラウメニ症候群の発症前診断の遺伝カウンセリング	日本遺伝カウンセリング学会誌(1347-9628)/42巻3号 Page325-	Original Article
31	辻本 美沙, 佐野 仁志, 西村 均	小児科	炭水化物類液剤の誤嚥により気腫性変化をきたした化学性肺炎の一例	日本小児救急医学会雑誌1346-8169/20巻83号 Page151-	Original Article
32	藤江 壮輔, 奥野 智介, 前田 敬	小児科	巨大骨盤原発Ewing肉腫ファミリー腫瘍に対し、外科的切除せず大量化学療法と放射線療法を行った一例	日本小児血液・がん学会雑誌2187-011X/58巻3号 Page296-	Original Article
33	高橋 美穂, 藤田 由紀子, 藤田 幸希	看護部	乳がん患者のアピアランスについての認識とジェンズ	米子医学雑誌0044-0558/72巻5-7号 Page35-44(2021.11)	Original Article
34	藤原 雅雄, 工藤 恵紗, 川手 小由	看護部	わが国の救命領域における看護士のジェンズに関する文献検討	米子医学雑誌0044-0558/72巻5-7号 Page15-23(2021.11)	Original Article
35	三原 健廣, 吉田 匡希, 谷島 健二	整形外科	神経障害が出現した転移性脊椎腫瘍の治療	Journal of Spine Research1884-7137/12巻12号 Page1372-	Original Article
36	森田 知雄子, 谷島 健二, 三原 健廣	整形外科	びまん性特発性脊椎骨増殖症(DISH)に合併した胸腰椎椎体骨折の受傷機序と骨折高位の関連	Journal of Spine Research1884-7137/12巻12号 Page1391-	Original Article
37	藤田 祥平, 松木 友之, 宮内 互	小児科	頭部食道癌根治的放射線療法後のリンパ節再発に対し集学的治療を施行した1例	糖と化学療法0385-0684/48巻13号 Page1859-1861(2021.12)	Original Article

38	櫻井 孝志, 谷口 文紀, 池原 愛	女性診療科群	Obstructed Hemivagina and Ipsilateral Renal Anomaly症候群に対し膣壁開窓術を施行した1例	現代産婦人科(1882-482X)70巻1号 Page71-74(2021.12)	Original Article
39	吉田 愛, 山田 七子, 堤 玲子	皮膚科	Mycobacterium marinumによる腱鞘滑膜炎の1例	西日本皮膚科(0386-9784)83巻6号 Page545-548(2021.12)	Original Article
40	木村 隆幸, 生越 智文, 亀岡 聖史	救命救急センター	軽微な症状で発症し、蘇生的大動脈内バルーン遮断が有用であった破裂性腹部大動脈瘤の1例	日本救急医療学会雑誌(1882-0581)35巻 Page15-18(2021.12)	Original Article
41	柳家 和男, 谷口 恭輔, 吉田 慶	歯科口腔外科	ARONJ発症のリスクファクターとしての骨代謝マーカー測定の有用性	日本口腔科学会雑誌(0029-0297)70巻4号 Page309-316(2021.12)	Original Article
42	山元 修	皮膚科	【脂腺の病気】脂腺系腫瘍の病理組織のみかた	皮膚病診療(0381-7531)43巻12号 Page1085-1089(2021.12)	Review
43	矢間 敬章, 渡部 佑, 藤原 和典	頭頸部診療科群	小耳症に対する軟骨伝導補聴器安定装用のための義耳利用	耳鼻と臨床(0447-4227)68巻1号 Page32-37(2022.01)	Original Article
44	岩藤 小波, 田山 祐輝, 山下 典子	検査部	凝固第VIII因子定量試薬「レボヘムFVIII合成基質」の基礎的検討及び凝固一段法の比較	医学検査(0915-8669)71巻1号 Page67-72(2022.01)	Original Article

計44件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 1. 目的と適応範囲 1. 1. 目的 1. 2. 適応範囲 2. 委員会の構成 2. 1. 委員 2. 2. 委員会事務局 2. 3. 教育・研修 2. 4. 守秘義務 2. 5. 利益相反の管理 3. 審査・報告事項 4. コンサルテーション 5. 審査・報告申請 5. 1. 審査・報告資料の提出 5. 2. 提出資料 6. 倫理審査 6. 1. 一般審査 6. 2. 迅速審査 7. 審査結果の通知 8. 審査結果通知後の対応 9. 調査 10. 他の研究機関からの審査依頼 11. 情報公開 12. 記録の保管	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年36回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 (目的) 鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。 (利益相反マネジメントの対象及び基準) 利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者 一 臨床研究実施者等 二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の親族 三 その他審査委員会が必要と判断した者 開示対象とする事項 一 経済的利益 二 経営関与 利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。 (臨床研究実施者等の責務) 利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 1. 臨床研究で遵守すべき倫理的原則 2. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の施行について 3. 臨床研究方法論と研究デザイン 4. 臨床研究の基本理念に基づく研究計画の審査のポイント 5. 臨床研究における多変量解析モデルの変数選択の方法 6. データマネジメント概論	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科の研修統括者のもと指導医による専門研修の指導を行っており、新専門研修制度においては、本院を基幹施設として県内外の関連病院を連携施設とした専門研修プログラムを策定し、各領域において高度な医療に関する研修の指導体制を構築している。また、各領域の研修プログラムにおいては、専門医資格の取得をはじめ、大学院重点コースや地域医療に配慮したコースを設定し、高度な医療に関する専門知識・技術、資質を習得し、社会に貢献できる医師の育成を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	74人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科／ 内分泌代謝内科	主任診療科長	36年	内科含む
磯本 一	消化器内科／ 腎臓内科	主任診療科長	32年	内科含む
山崎 章	呼吸器内科／ 膠原病内科／ アレルギー科	主任診療科長	29年	内科含む
岩田 正明	精神科	診療科長	22年	
難波 範行	小児科	診療科長	31年	
藤原 義之	消化器外科／ 小児外科	主任診療科長	35年	
西村 元延	心臓血管外科	診療科長	39年	
中村 廣繁	呼吸器外科／ 乳腺内分泌外科	主任診療科長	38年	
永島 英樹	整形外科／ リウマチ科	診療科長	34年	
山元 修	皮膚科	診療科長	40年	
武中 篤	泌尿器科	診療科長	36年	
宮崎 大	眼科	診療科長	33年	
藤原 和典	耳鼻咽喉科／ 頭頸部外科	主任診療科長	21年	
藤井 進也	放射線科	診療科長	24年	
吉田 賢史	放射線治療科	診療科長	24年	
谷口 文紀	産婦人科	診療科長	29年	
大槻 明広	麻酔科	診療科長	23年	
小谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	28年	
今村 武史	薬物療法内科	診療科長	35年	
八木 俊路朗	形成外科	診療科長	21年	

上 田 敬 博	救急科	診療科長	2 4 年	
福 田 哲 也	血液内科	診療科長	3 3 年	内科含む
花 島 律 子	脳神経内科	診療科長	3 2 年	内科含む
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	3 2 年	
前 垣 義 弘	脳神経小児科／ 遺伝子診療科	診療科長	3 4 年	
梅 北 善 久	病理診断科	診療科長	3 5 年	
千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	3 4 年	内科含む

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
1. BLS研修	
・研修の主な内容	一次救命処置の知識を習得する
・研修の期間・実施回数	令和3年9月、令和4年2月～3月・37回
・研修の参加人数	866人
2. 接遇研修	
・研修の主な内容	よりよい看護サービスを提供するための接遇を学ぶ
・研修の期間・実施回数	令和3年4月5日・1回
・研修の参加人数	72人
3. 災害看護研修	
・研修の主な内容	災害時における看護を理解する
・研修の期間・実施回数	令和3年7月・1回（eラーニングで受講）
・研修の参加人数	70人
4. ポジティブマネジメント	
・研修の主な内容	ポジティブマネジメントを学ぶ（強みを引き出し、その人らしさを支える）
・研修の期間・実施回数	令和4年2月14日・1回
・研修の参加人数	26人
5. 倫理研修基礎	
・研修の主な内容	臨床における倫理的課題から看護師としての基本的な考え方を確認する
・研修の期間・実施回数	令和3年4月2日・1回
・研修の参加人数	72人
6. コミュニケーション研修	
・研修の主な内容	コミュニケーション方法を理解する
・研修の期間・実施回数	令和3年7月15日・1回
・研修の参加人数	63人
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）	
1. メンタルヘルス研修（セルフケア、ラインケア）	
・研修の主な内容	（セルフケア） ストレスに関する基礎知識を学ぶとともに、ストレス対処法を知ることにより、日々のセルフケアの習慣を身につけさせる機会を設け心の健康促進を図る （ラインケア） 管理職員を対象に、安全配慮義務とメンタルヘルス不全による職員への対応、協力的な職場環境を作るためのコミュニケーションの工夫などを学ぶ
・研修の期間・実施回数	令和3年8月20日・1回（オンラインで受講）
・研修の参加人数	109人

2. 労務管理研修会 ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数	管理的立場にある者及び勤務時間管理員に対し、最近の労務管理をめぐる動向に関する説明を行うとともに、長時間労働による健康障害の防止（安全配慮義務）、勤務時間管理、ワークライフバランス等について意識啓発を行う 令和3年7月5日～令和3年10月4日（eラーニングで受講） 188人
3. ハラスメント防止研修会 ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数	ハラスメント防止に関する基本的な知識を修得し、ハラスメントのない職場作りを行う 令和3年7月7日～令和3年12月31日（eラーニングで受講） 392人
4. ハラスメント相談研修会 ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数	ハラスメント相談員の役割を理解するとともに、相談員としてハラスメント相談を受ける際に必要な傾聴のスキル等を習得する 令和3年7月7日～令和3年12月31日（eラーニングで受講） 183人
5. 情報セキュリティ研修会及び個人情報保護研修会（一般向け） ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加者	本学で発生したセキュリティインシデントについて Microsoft Defender for Endpointの利用周知促進 脱PPAP（Google Driveを使ったPPAP代替手段の紹介）について 個人情報の適切な管理について 令和3年9月22日～令和4年3月31日（オンデマンド開催） 763人
6. 「個人情報保護及び情報セキュリティ研修会」 ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数	個人情報保護法の改正と次世代基盤法及びサイバーセキュリティ 令和3年9月30日～令和4年3月31日（オンデマンド開催） 1812人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数	

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 原田 省	
管理担当者氏名	総務課長 田代佳正、医療支援課長 末廣 徹、医事課長 市川 貢資	

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	医療情報部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課 医学図書館
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	項 規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部 MEセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部、MEセンター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 原田 省
閲覧担当者氏名	総務課長 田代佳正、医事課長 市川貢資、 医療支援課長 末廣 徹
閲覧の求めに応じる場所	医療相談室
閲覧の手続の概要 ①公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。 ②大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。 ③請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。 ④開示(閲覧)を実施する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理のための組織に関する基本的事項 (3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針 (7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容：医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。 （審議事項） ・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年121回
・ 研修の内容（すべて）：医療安全研修会（8回） 委託業務従事者研修会（1回） 医療機器研修会（7回） BLS研修会（37回） 薬剤関連研修会（3回） 病院情報システム研修会（22回） 新採用・中途採用オリエンテーション（27回） 院内認定看護師育成研修（16回）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医療安全管理責任者の指示のもと、医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。 2. 1を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。	

(検討方法)

1. 医療安全管理責任者を中心に、医療安全管理者、リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。
2. 医療安全管理者は毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長連絡会・リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議等で報告し検討している。
3. 事例によっては、クオリティ審査専門委員会・拡大クオリティ審査専門委員会等で審査を行う。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☒ ・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する「鳥取大学医学部附属病院における院内感染対策のための指針」の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針 8. 職業感染防止のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： 1. 新型コロナウイルス感染対策2021！～ワクチン関連情報&個人防護具着脱～ 2. 新型コロナウイルス感染対策2021！～検査&感染対策&コロナ発生時の対応～	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ ☒・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 2. 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 3. サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応 4. 感染制御部メンバーによる定期ミーティング	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年16回
研修の主な内容：医療安全研修会「術前中止薬の術後再開基準について」（1回） 血糖測定研修会（1回） インスリン療法研修会（1回） インスリン療法・血糖測定研修会（1回） 新採用・中途採用職員オリエンテーション（12回）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	- 手順書の作成（☒・無） - 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：医薬品の採用・購入に関する事項 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	- 医薬品に係る情報の収集の整備（☒・無） - 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： - その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集） - 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集 - 病院で発生する副作用・感染症情報の把握 - 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等） （情報の周知方法） - 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る - 新採用者または全職員を対象に開催する研修会 - 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供 - 医師等の個人に直接情報提供 - 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年7回
研修の主な内容：人口呼吸器研修会（2回） 人工呼吸非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）（2回） チェスト・ドレーンバック研修会（1回） PICC（末梢穿刺中心静脈カテーテル）研修会（2回）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定（☒・無） - 機器ごとの保守点検の主な内容： - MEセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用后点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。 - 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、MEセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。 - 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたMEが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。 - 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備（☒・無） - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： - その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法） - 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。 （情報の周知方法） - 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。 - 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い、周知を図っている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格（☒医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長（医療安全）を配置している。 （職務内容） 医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（1名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。 1. 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定 2. 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 4. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。 ・担当者の指名の有無（☒有・無） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 職種：薬剤師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（☒有・無） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 1. 説明等の実施に必要な方法に関して、インフォームド・コンセントマニュアル等に定められた事項の遵守状況を定期的に確認している。 2. 説明方法、内容、文書管理等についての検討事項は、適宜インフォームド・コンセント専門委員会でルール化している。 3. 不適切な事例が認められる場合は、当該部署へ指導を行うとともに、必要に応じて院内文書（インフォームド・コンセント便り等）により病院全体へ周知している。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録管理委員会内に診療録監査専門部会を設置し、診療録等の記載内容、退院サマリーの作成状況、カウンターサインの実施状況等を毎月確認している。内容の記載不備、未作成又は未実施など不備がある場合は、担当医師に直接指導を行っている。	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（12）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（7）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 1. 医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録、資料等の作成及び保存に関する事 2. 医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営・学習効果測定の実施に関する事 3. 医療事故及びこれに準じて取り扱うことが必要な事象（以下「医療事故等」という。）が発生した場合における診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関する事 4. 医療事故等が発生した場合における患者又はその家族への説明などの対応状況についての確認及び指導に関する事 5. 医療事故等の発生原因の究明等対応状況が適切に実施されていることの確認及び当該確認結果に基づく医療従事者への必要な指導に関する事 6. 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びにそれに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関する事 7. 医療安全に資する診療内容及び医療従事者の医療安全の認識についてのモニタリングに関する事（診療録管理委員会にて監査を実施） 8. 死亡例及び合併症の報告等に関する事 9. 医療安全に係る内部通報に関する事 10. 医薬品及び医療機器の安全管理に係る助言指導に関する事 11. インフォームド・コンセント及び診療録の管理の適切な実施に係る助言指導に関する事 12. 医療安全に係る外部監査に関する事 13. 医療安全に関わる委員会とその連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い、その他ゼネラルリスクマネージャーの活動実績の記録に関する事 14. 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施に関する事 15. 特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関する事 16. 医療安全管理に係る連絡調整に関する事 17. 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する事 18. 未承認新規医薬品・医療機器の使用に関する事 19. その他本院における医療安全の確保のための対策の推進に関する事 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10件）、及び許可件数（10件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒有・無 ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒有・無 ） ・活動の主な内容： 1. 高難度新規医療技術等に該当するか否かの判断に関する事 2. 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供申請の適否等の決定及び結果通知に関する事 3. 関係する委員会等との調整に関する事 4. 提供を認めた高難度新規医療技術等の周知及び関係者への指導に関する事 5. 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事 6. 患者申出療養の実施の可否に関する事 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒有・無 ） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒有・無 ）	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況 ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（44 件）、及び許可件数（40 件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ ・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ ・無 ） ・活動の主な内容：未承認新規医薬品・医療機器に該当するか否かの判断に関すること 未承認新規医薬品・医療機器の使用申請の適否等の決定及び結果通知に関すること 関係する委員会等との調整に関すること 使用を認めた未承認新規医薬品・医療機器の周知及び関係者の指導に関すること 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関すること 患者申出療養の実施の可否に関すること その他必要と認められる業務 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ ・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ ・無 ）
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 524 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 170 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異状死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・他の特定機能病院等への立入り（ ☒ （病院名：山口大学医学部附属病院）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ ☒ （病院名：高知大学大学医学部附属病院）・無） ・技術的助言の実施状況 書類審査の実施となった。
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・体制の確保状況 平成 15 年 4 月 1 日に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1 名、医事課及び医療支援課の事務職員 16 名の相談員を配置している。また、令和 2 年 5 月 1 日に総合患者相談窓口を新設し、専任の相談員を配置するとともに看護師 18 名の相談員が連携対応している。 相談受付時間は、平日 8：30 から 17：00（土日祝日除く）としている。 （活動状況等） 医療相談室及び総合患者相談窓口の相談員が、医療安全管理部（医療安全管理者）と協力して患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。 対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。 また、必要に応じて、医師、看護師等各部署と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告しているとともに、総合患者相談窓口では毎週、関係部署で 1 週間の事例共有と対応評価のカンファレンスを実施している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全研修会、医療機器研修会等を実施している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を「特定機能病院管理者研修」参加させるなどの措置を講じている。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

評価を行った機関名： 公益財団法人 日本医療機能評価機構

評価を受けた時期： 2019年10月9日～10月11日

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院ホームページにて公表

・評価を踏まえ講じた措置

改善事項3項目について確認審査を受審

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

医師免許を有している者

鳥取大学医学部附属病院の主任診療科長、診療科長又は診療施設の長に併任されているもの

医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者

①医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務

②医療事故防止等対策委員会の構成員としての業務

③医療安全管理部における業務

④その他上記に準ずる業務

組織管理能力等の医学部附属病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有している者

①病院長又は副病院長の経験

②診療科長又は診療施設等の長の3年以上の経験

教育・研究・診療に必要な資質及び能力を有している者

大学の医学系教授の経験があり、学識に優れ、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有している者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有 ・ ☒ 無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 管理運営上の諸種の事項の調査審議し、これらに関し必要な事項を建議する。 ・審議の概要の従業者への周知状況 医学部附属病院ホームページにより公表 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（☒有・無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職

役職指定で構成員が決まっているため名簿の作成はおこなっていない。

- 一 ○病院長（委員長）
- 二 管理運営組織の長
- 三 主任診療科長
- 四 診療科長
- 五 診療施設の長
- 六 薬剤部長
- 七 看護部長
- 八 診療支援技術部長
- 九 臨床研修支援部長
- 十 事務部長
- 十一 その他病院長が必要と認めた者

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

- ・ 規程の主な内容

病院長は、病院に関する業務を掌理する

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長（総務）評価監査・人事労務・教育・キャリアアップ支援・特定行為等

副病院長（経営・広報）経営・広報・先進医療・臨床試験・国際交流等

副病院長（医療安全）診療録・災害対策・個人情報保護

副病院長（医療の質管理）患者サービス等

病院長特別補佐（業務改善）病院業務改善等

病院長特別補佐（地域連携）地域包括ケアシステムの構築・病院機能分化

病院長特別補佐（患者サービス担当）メディエーター・地域医療等

病院長特別補佐（地域連携・接遇担当）自治体等との連携、医療コンサルジュ、病院再開発等

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院のマネジメントを円滑に遂行するために複数の副病院長、病院等特別補佐を置き業務分担を行っている。

国立大学附属病院長会議等が企画する【病院経営次世代リーダー養成塾】、【医師の働き方改革に関する「トップマネジメント研修」】へ副病院長が例年参加し人材育成を行っている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					☒ ・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査 ・ 病院の医療安全に係る管理状況及び改善状況に関する審議 ・ 監査及び審議結果の学長及び病院長への報告 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 公表の方法：ホームページにより公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
福田 誠司	椋山女学園大 学看護学部教 授	○	医療に係る安全管 理に関する識見を 有する者として適 任であるため。	☒ ・無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見 を有する者として 適任であるため。	有・ ☒	1
前田 純子	NPO 法人岡山 SP 研究会代表		医療を受ける者で、 かつ医療従事者以 外であり、医療安全 管理についての知 識を有する者とし て適任であるため。	有・ ☒	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

鳥取大学内部統制規則を整備するとともに、鳥取大学監査室による定期監査を行っている。
法人文書・個人情報の管理状況に関する監査、公的研究費等に関する監査を実施。
また病院の管理及び運営を行うための合議体である病院運営会議に監事が出席している。

・ 専門部署の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

鳥取大学ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により開催している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 5 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有 ・ 無 ）（ 年 4 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中島 廣光	学長	○	☒ 有 ・ ☐ 無
田村 文男	理事・副学長		☒ 有 ・ ☐ 無
河田 康志	理事・副学長		☒ 有 ・ ☐ 無
細井 由彦	理事・副学長		☒ 有 ・ ☐ 無
小嶋 稔	理事・副学長・事務局長		☒ 有 ・ ☐ 無
藪田 千登世	理事・副学長		☒ 有 ・ ☐ 無
坂本 直	理事		☒ 有 ・ ☐ 無
原田 省	医学部附属病院長・副学長		☒ 有 ・ ☐ 無
江崎 信芳	公立大学法人公立環境大学学長		有 ・ ☐ 無
熊埜御堂 朋子	NHK 鳥取放送局 局長		有 ・ ☐ 無
中島 諒人	特定非営利活動法人鳥の劇場 代表理事		有 ・ ☐ 無
林田 英樹	元文化庁長官		有 ・ ☐ 無
平井 伸治	鳥取県知事		有 ・ ☐ 無
松本 典子	学校法人藤田学院鳥取短期大学学長		有 ・ ☐ 無
宮崎 正彦	(株)鳥取銀行 代表取締役会長		有 ・ ☐ 無
吉岡 秀樹	(株)新日本海新聞社 取締役		有 ・ ☐ 無
渡辺 憲	公益財団法人鳥取県医師会会長		有 ・ ☐ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法 ホームページにより公表

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○ホームページ：随時更新 ○広報誌「とりだい病院ニュース」：3回発行 当院の最新の取組みや医療情報を患者さんとはじめ地域の医療機関等へ発信している。 ○広報誌「カニジル」：3回発行 医療や医療に携わる人にフォーカスを当てながら当院の新たな魅力を発信している。 ○外来担当医のご紹介：1回発行 顔写真付きの外来担当医表。医療圏内の医療機関へ配布している。当院を身近に感じていただき、患者紹介時に活用いただく。 ○ケーブルテレビ：地元ケーブルテレビ局と提携し、医療番組を毎月放送。 ○メディカルセミナー（市民対象公開講座）：2回開催 地域に出かけ当院医師らが最新治療や地域のニーズに合った話題を講演している。 ○公式SNS(face book, twitter)：随時発信 当院の日々の出来事や注目情報などをいち早く発信している。 ○カニジルラジオ 地元ラジオ局と提携。主に当院の職員が出演し医療や病院に関する話題を紹介している。 ○プレスリリース、記者発表 新たに実施した治療や取組みについて、報道機関に随時情報発信をしている。 ○記者懇談会：年1～2回開催 記者との関係構築や当院情報の発信推進を目的に開催している。 ○診療科案内冊子、職種案内冊子：採用パンフレット	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている。 また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、糖尿病医療支援チーム、栄養サポートチーム、感染対策チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、転倒・転落予防チーム、生殖医療チーム、呼吸サポートチーム、ラピッドレスポンスシステム検討チーム、早期離床リハビリテーションチーム、認知症ケアサポートチーム、肝疾患サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチームなど、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。	